

一般質問 市政を問う



12月10日から12日の3日間、14人の議員が登壇し、市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をいただきました。

各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

※一般質問の詳細等が載った会議録は、次の定例会までに第1庁舎の行政情報コーナーに備え付けますので、ごらんください。

答弁 秋田社会保険病院は、公的医療機関として地域医療、保健、福祉の面で大変重要な役割を果たしている。今後、国の動向や社会保険病院等に関する専門家会議の内容等を見きわめ、さまざまな機会をとらえ国・県へ存続・充実の要望をしていきたい。医師不足とその確保については、県では医師確保総合対策を展開しているほか、国でも緊急対策を講じており、これらの施策が本市の医師確保に反映されるよう現状を説明し、理解を求めていきたい。

質問 社会保険庁は、社会保険病院の整理合理化計画を策定するため、病院経営の評価指標等を検討する「社会保険病院等に関する専門家会議」を開催した。同病院の公的医療機関としての重要性の認識と存続・拡充に向けての要望活動は。また、医師不足と医師確保等への市の対応は。

秋田社会保険病院の 存続・拡充



薩摩 博
(よねしろ会)

国民年金健康保養 センターのしろ閉館

質問 12月1日をもって閉館した保養センターに対し、多くの市民や近隣住民から寂しさの声が聞こえてくる。同館に新しく参入する企業の今後の動向はどうか。また、職員・パートの再雇用の問題、物品等を納入していた地元業者の今後の対応は。

答弁 国民年金健康保養センターのしろを落札した株式会社ライトは、これまでと同様に宿泊や日帰り入浴ができるよう改装して来春から営業する予定と伺っており、引き続き地域の核になる施設として運営されることを期待している。従業員の雇用や物品等の地元納入については、民間企業の経営にかかわることであり、市が直接的に関与できるものではないが、解雇された従業員の優先雇用や物品等の地元業者の活用の特段の配慮をしていただけるよう、機会をとらえてお願いしてみたい。



薩摩議員のその他の質問事項
。公用車の小型化